

2024年度 日本工学院八王子専門学校											
CG映像科											
モデリング演習 4											
対象	3年次	開講期	後期	区分	選4	種別	実技	時間数	60	単位	2
担当教員	浅沼 真			実務 経験	有	職種	CGデザイナー、コンセプトアーティスト				
授業概要											
3科目の中から、希望する専攻（VFX専攻、アニメーション専攻、モデリング専攻）の科目を3科目選択して受講します。											
到達目標											
就職活動における各テーマの強化、ポートフォリオの改善を主に、卒業制作の作品制作、個人制作、グループ制作、企業課題などのサポート、フォローアップを行い個別のスキル最大化を目指す。また、最前情報を柔軟に幅広く共有し広い観点と客観性を育む。チェックとリテイクに慣れ、実務的、実践的にコミュニケーションスキルを身につける。											
授業方法											
モチーフ一品を観察して粘土で塑像することを「模刻」と呼んでいます。これはデッサン以上にあらゆる方向からの観察がなされ、間違いを探し易く、ブラッシュアップも進みます。また出来上がった立体は第三者から様々な方向から見られるため、粗も目立ちやすいのですが、反面、観察を深めれば深めるほど、手を加えれば加えるほど、その立体作品は緻密で正確な造形となり、説得力あるものに生まれ変わっていきます。今回この授業では、粘土造形を主体に、デッサン実習も含め、その両方の体験から総合的なデッサン力を高めていきます。											
成績評価方法											
課題：10%、授業参加&授業態度：20%、提出時の作品完成度70%											
履修上の注意											
各自のスキル、制作時間的に実現不可能な案の場合は改善案や変更案を提示します。授業日数の4分の3以上出席しない者は評価外とします。											
教科書教材											
毎回プリントを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。授業中に参考になる資料本を常時、閲覧できるようにする。 CLASSROOM等で、各学生に参考動画等を配信する。											
回数	授業計画										
第1回	クレイ粘土 課題①モチーフをよく観察し、二つのモチーフを美しく構成する 1										
第2回	クレイ粘土 課題①モチーフをよく観察し、二つのモチーフを美しく構成する 2										
第3回	クレイ粘土 課題②モチーフをよく観察し、自然物の構造を理解し、立体表現する 1										

第4回	クレイ粘土 課題②モチーフをよく観察し、自然物の構造を理解し、立体表現する 2
第5回	クレイ粘土 課題③自分でデザインした仮想の動物を2Dで描き、それをクレイで立体表現する 1
第6回	クレイ粘土 課題③自分でデザインした仮想の動物を2Dで描き、それをクレイで立体表現する 2
第7回	クレイ粘土 課題④自分でデザインした仮想のキャラクターを描き、それをクレイで立体表現する 1
第8回	クレイ粘土 課題④自分でデザインした仮想のキャラクターを描き、それをクレイで立体表現する 2
第9回	クレイ粘土 課題⑤モチーフをよく観察し、徹底的に立体として作り込んでいく 1
第10回	クレイ粘土 課題⑤モチーフをよく観察し、徹底的に立体として作り込んでいく 2
第11回	デッサン 課題⑥ペン画 与えられた自然物（小物）をモチーフにペンで細密描写する
第12回	デッサン 課題⑦任意のキャラクターをデザインして、2Dと3Dで描写する。
第13回	デッサン 課題⑧鳥の剥製から想起して任意のキャラクターをデザインする
第14回	デッサン 課題⑨想像による生命体をデザインし、想定描写する
第15回	デッサン 課題⑩三年間の集大成として、石膏デッサン、 静物デッサン（大型）に挑戦する